

# 武庫川女子大学大学院修士課程

**男女  
共学** 健康・スポーツ科学研究科  
健康・スポーツ科学専攻

長期履修制度 | 昼夜・土曜開講

*Mukogawa Women's University  
Graduate School  
of Health and Sports Sciences*



# 健康・スポーツ科学の様々な分野で 活躍できる研究力、実践力を育てる大学院



今、社会は健康分野、スポーツ科学分野で活躍できる人を求めています。長寿社会と言われる現代にあって、単に長寿ではなく、健康に生きることの大切さが再認識されています。すべての人にとって健康を維持・増進することは人生の基礎・根幹をなすといっても過言ではないでしょう。一方、スポーツ分野においては、アスリートの活躍は観る人をも元気にさせますが、それを科学的に解明し、パフォーマンスを向上させることが求められています。アスリート本人はもちろんのこと、それを支えるための様々な角度からのより深い専門的研究、実践が不可欠であると言われています。

本研究科は、健康・スポーツ科学に関わる、健康・スポーツ教育学、健康・体力科学、スポーツトレーニング科学、リハビリテーション科学、そして新しく設置しましたスポーツビジネスを含めた5つの分野で構成されています。

大学で学んだ上にさらに専門性を深めていきたい。もっと競技力を高めたい。健康やスポーツに関わる職業に就いているが一層の専門的知識、技能などの必要性を感じている。そういった方々の思いや熱意を私たちはしっかりと支援していきます。

研究科長 山崎 彰

## 健康・スポーツ科学研究科の特色

1



5分野の専門的な教育・研究

2



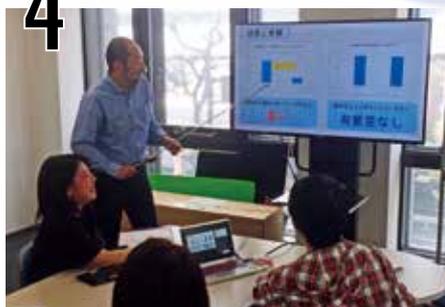
働きながら学べる

3



競技を続けながら学べる

4



主査と副査による丁寧な研究指導

5



国際・国内学会発表や参加支援

6



充実した教育・研究環境

## 教育の方針 Curriculum Policy

「共通科目」と「各分野科目」で開講する特論、演習、実習を通して「知識・理解」、「技能・表現」、「思考・判断」、「態度・志向性」を身につけ、「論文作成研究科目」では修士論文の作成に向けた研究計画立案、予備実験・調査、本実験・調査などの研究活動ができる学年積み上げ方式の教育課程を編成しています。

### 共通科目

本専攻の基盤科目に相当します。そのため、柱となる「健康・スポーツ科学総論」では一次予防から三次予防について医学およびリハビリテーション科学の各領域による最新の理論と実践について学び、さらにはスポーツにおけるパフォーマンスの向上について、バイオメカニクスの、生理的、心理的およびコーチングの面から指導現場における問題意識と課題を解決するために必要な取り組みについて学びます。

さらに「研究倫理」では科学の健全な発展のために科学者として必要な考え方として、1) 責任ある研究活動とは何か、2) 高い倫理性に基づく研究の進め方、3) 適正な研究成果の発表について理解を深めます。

#### 1 健康・スポーツ教育学分野

健康教育およびスポーツ教育についての専門知識を高め、高い指導力を有した教育のスペシャリストを養成する。

#### 2 健康・体力科学分野

医学、運動生理学、レジャー・レクリエーションおよび行動科学の専門知識を高め、高い指導力を有した健康をサポートできる運動指導者のスペシャリストを養成する。

#### 3 スポーツトレーニング科学分野

スポーツ動作、技術、心理および体力について科学的手法を用いて分析・評価を行い、競技種目特性に応じた適切なトレーニングプログラムやコンディショニングプログラムを立案・指導できるスペシャリストを養成する。

#### 4 スポーツビジネス分野 **新設**

経営学や商学の基礎を理解した上で健康・スポーツ関連の最新のビジネスや女性に関連が深いビジネスについて考える力を養い、起業についてのプロセスを理解する。

#### 5 リハビリテーション科学分野

医学、理学療法学、健康科学などの専門知識を高め、問題解決能力と研究能力を有した健康をサポートできる理学療法士等のリハビリテーション専門職スペシャリストを養成する。

## 求める学生像 Admission policy

健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする意欲

×

**運**動療法に対して、幅広い年齢層における疾病の一次予防を目的とした運動処方を実施し、二次予防として種々の病態に相応しい高度な医科学的知識に加えて行動科学的なアプローチに精通しようとする**健康運動指導士**や**健康運動実践指導者**、さらに**管理栄養士**などの資格を有する者

**科**学的理論に裏付けられた運動発達のプロセスやトレーニングの原則、スポーツ傷害の予防および回復に関する高度な医科学的知識と能力を兼ね備え、体育授業やスポーツ行事、運動部活動などの指導をしようとする**保健体育教員**の資格を有する者

**健**康や体力、スポーツトレーニングに関する知識と能力を兼ね備え、リハビリテーションを通して臨床現場や地域社会で高い問題解決能力と技術を用いて指導的役割を担おうとする**リハビリテーション専門職種**の資格を有する者、さらに**スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営**などの**スポーツビジネス分野**で活躍しようとする者

# 授業科目

必・選別	分野	科目	単位数
必修	論文作成 研究科目	課題研究Ⅰ	4
		課題研究Ⅱ	4
	共通	研究倫理	1
		健康・スポーツ科学総論	2
		スポーツ・リハビリテーション科学研究法	2
	身体運動評価学実習	1	
選択	健康・ スポーツ教育学	保健体育科教育学特論	2
		保健体育科教育学演習	1
		スポーツ教育学特論	2
		スポーツ教育学演習	1
		教育経営特論	2
		教育経営演習	1
	健康・ 体力科学	運動生理学特論	2
		運動生理学演習	1
		健康行動学特論	2
		健康行動学演習	1
		レジャー・レクリエーション学特論	2
		レジャー・レクリエーション学演習	1
	スポーツ トレーニング科学	運動制御学特論	2
		運動制御学演習	1
		スポーツ心理学特論	2
		スポーツ心理学演習	1
		スポーツコーチング特論	2
		スポーツコーチング演習	1
	スポーツ ビジネス	スポーツビジネス特論	2
		スポーツビジネス演習	1
		スポーツマーケティング特論	2
		スポーツマーケティング演習	1
	リハビリ テーション科学	運動機能障害学特論	2
		運動機能障害学演習	1
分子機能回復学特論		2	
分子機能回復学演習		1	
リハビリテーション医学特論		2	
スポーツリハビリテーション学特論		2	



## 募集人数

20名

## 取得できる学位

修士（健康科学）  
修士（スポーツ科学）

## 取得可能な資格

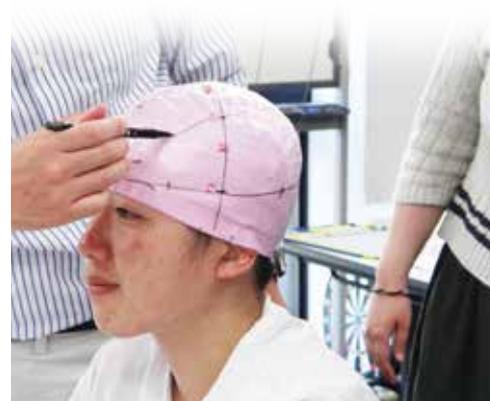
中学校教諭専修免許状（保健体育）  
高等学校教諭専修免許状（保健体育）

## 授業料（2019年度の例）

605,000円  
（教育充実費 80,000円は別途）

## 履修方法と修了要件

修士課程は2年以上在学して、30単位以上（他専攻科目を含む）を修得する。



# 専任担当教員・研究テーマ

教員名／分野	研究テーマ／主な担当科目
 <p><b>渡邊 完児</b> 教授 専攻長 健康・体力科学分野</p>	<p>1. 身体分節体積の計測精度に関する研究 2. 簡便な身体組成評価法の開発 3. 種々の運動様式と脂質代謝の関連</p> <p style="text-align: right;">運動生理学特論</p>
 <p><b>田中新治郎</b> 教授 健康・スポーツ教育学分野</p>	<p>1. 教育計画としておよび、学びの履歴としての保健体育科のカリキュラムづくり研究 2. 文化としてのスポーツの教育内容づくり研究 3. 運動技術指導の系統性研究</p> <p style="text-align: right;">保健体育科教育学特論</p>
 <p><b>中西 匠</b> 教授 健康・スポーツ教育学分野</p>	<p>1. 運動会・体育祭の教育価値－体育祭が「自治」を生み出すしくみ－ 2. 教科外体育の教育課題－総合的な実践の場として組織・運営能力の育成－ 3. スポーツの主体者形成論の今日的課題－クラブ論を中心に－</p> <p style="text-align: right;">スポーツ教育学特論</p>
 <p><b>長井 勘治</b> 教授 健康・スポーツ教育学分野</p>	<p>1. 教育経営に関する実践的研究 2. 教師のライフワークに関する研究 3. 小学生の体力向上に関する研究</p> <p style="text-align: right;">教育経営特論</p>
 <p><b>中村 哲士</b> 教授 健康・体力科学分野</p>	<p>1. レジャー・レクリエーションの認識と生活化に関する研究 2. 地域・職域に貢献するレクリエーション・リーダーに関する研究 3. ニュースポーツの類型と効力に関する研究</p> <p style="text-align: right;">レジャー・レクリエーション学特論</p>
 <p><b>松本 裕史</b> 准教授 健康・体力科学分野</p>	<p>1. 運動・身体活動の参加、継続に関する心理・行動科学的研究 2. 運動・身体活動のモチベーションに関する研究 3. スポーツ指導者のコーチ行動に関する研究</p> <p style="text-align: right;">健康行動学特論</p>
 <p><b>伊東 太郎</b> 教授 スポーツトレーニング科学分野</p>	<p>1. 糖尿病性抹消神経障害患者の歩行と病態進行 2. 脳卒中患者における先行随伴性姿勢調節の様相 3. コーディネーショントレーニングの開発</p> <p style="text-align: right;">運動制御学特論</p>
 <p><b>坂井 和明</b> 教授 スポーツトレーニング科学分野</p>	<p>1. 球技スポーツにおける戦術を効果的に遂行するための実践知に関する研究 2. 課題解決型思考の手順に沿った効果的なスポーツコーチング方法 3. 球技スポーツの専門的持久力に関する研究</p> <p style="text-align: right;">スポーツコーチング特論</p>
 <p><b>田中 美吏</b> 准教授 スポーツトレーニング科学分野</p>	<p>1. プレッシャー下における運動制御機能（知覚・認知、中枢神経活動、自律神経活動、筋活動、キネマティクス、姿勢制御、パフォーマンス結果）を解明する実験研究 2. 「イップス」の現象理解および対処法に関する研究 3. アスリートの競技力向上に対するメンタルサポートの実践研究</p> <p style="text-align: right;">スポーツ心理学特論</p>
 <p><b>久富 健治</b> 教授 スポーツビジネス分野</p>	<p>1. イノベーションの可能態としてのスポーツ産業に関する研究 2. スポーツ組織のガバナンスと社会的責任に関する研究 3. スポーツ経営学の社会科学としての独自性に関する研究</p> <p style="text-align: right;">スポーツビジネス特論</p>
 <p><b>穂原 寿識</b> 准教授 スポーツビジネス分野</p>	<p>1. 無形財におけるサービスマーケティングの研究 2. 流行の発生と消費行動の変化に関する研究 3. マーケティングミックスにおける動態的变化に関する研究</p> <p style="text-align: right;">スポーツマーケティング特論</p>
 <p><b>松尾 善美</b> 教授 リハビリテーション科学分野</p>	<p>1. 心大血管疾患リハビリテーションに関する研究 2. 腎臓リハビリテーションに関する研究 3. 呼吸障害の評価と治療に関する研究（嚥下機能も含む）</p> <p style="text-align: right;">運動機能障害学特論</p>
 <p><b>山添 光芳</b> 教授 リハビリテーション科学分野</p>	<p>1. ゲノム編集技術を用いて、速筋および遅筋繊維の生細胞イメージングを行うシステムの開発 2. 低出力パルス超音波（LIPUS:Low-intensity pulsed ultrasound）を利用して、筋芽細胞の分化を促進する研究 3. LIPUSによって癌細胞にアポトーシスを誘導し、癌治療に応用する研究</p> <p style="text-align: right;">分子機能回復学特論</p>

# 修士論文



## ■ 最近の修士論文のテーマ

### 健康・スポーツ教育学分野

- 小学校「ボール運動」領域における構成主義的なカリキュラム開発の試み :ICT 活用による学びの過程の変化に着目して
- インクルーシブ体育におけるピア学習の有効性について
- 引退を控えたスポーツ選手のセカンドキャリアに関する研究

### 健康・体力科学分野

- 異なる筋力トレーニングと有酸素運動の組み合わせが脂質代謝に及ぼす影響
- 健康・スポーツ系学科専攻学生の運動遊び経験に関する研究
- スポーツ指導者の統制的行動が女子大学生アスリートの動機づけに及ぼす影響

### スポーツトレーニング科学分野

- 安静立位時の姿勢制御に及ぼす体性感覚および身体図式の影響
- 柔道におけるオノマトペを使った効果的な指導法
- ソフトボールにおけるイップスの実情調査と評価尺度の開発に向けた構成概念の探索的検討

### リハビリテーション科学分野

- 筋輝度の皮下脂肪厚補正が筋力および全身持久力との関連に及ぼす影響
- 透析患者の身体活動量と運動機能、健康関連 QOL の関連性
- 摂食嚥下リハビリテーション時における舌運動時の舌骨上下筋群および体幹筋群における研究

## ■ 修士の学位授与までの流れ



## ■ 修了生からのメッセージ



山中 雄介さん

2018 年度修了生

**勤務先** 学校法人西口学園  
英風女子高等専修学校

スポーツでの現役生活を終えて専門的な知識を得たいと思い、大学院への進学を志望しました。日々の授業では、自分の専門分野だけではなく、様々なことを多岐にわたって学ぶことができます。修士論文は指導教員の先生だけではなく、多くの先生からアドバイスをいただいて書き上げることができました。修了した今、大学院での時間や経験はかけがえのないものだったと実感できており、有意義な2年間を過ごせたことに感謝しています。



稲田 愛子さん

2018 年度修了生

**勤務先** 学校法人武庫川学院  
武庫川女子大学（強化コーチ）

大学院では、修士論文を執筆するための研究を行いながら部活動の指導をしていました。授業で学んだことや研究を進めていく中で身に付けた知識を部活動の指導場面ですぐ実践できました。また、スポーツに関する分野だけでなく、健康に関する分野に関わる大学院生ともディスカッションを行い、様々な角度から意見を出し合えるところが魅力的でした。大学院での経験を基礎として、さらに進学し研究を続けていきたいと思っています。

# 学生生活

## スポーツを継続しながら学びたいあなたをサポート

昼夜開講

スポーツ推薦入試あり

奨学制度あり

## スポーツを継続しながら学ぶ大学院生(1年次)の1週間のタイムスケジュール例



泉谷 莉子さん [スポーツトレーニング科学分野]

私はコーチング学を専攻して自身の競技に少しでも貢献できるような研究をしながら陸上競技を続ける為に大学院に進学しました。大学院は大学の頃よりも少人数での授業の為、先生や他の学生との距離が近く、実験やディスカッションなど、より深く学ぶことができます。また、勉強・研究と競技を両立することによって、相乗効果で成長できていると実感しています。研究面では学会発表と修士論文の完成、競技面では日本一になり世界で活躍することを目標に日々精進しています。

## 働きながら学びたいあなたをサポート

昼夜開講

長期履修学生制度

社会人特別選抜

学院内保育ルームあり

アクセス抜群

## 働きながら学ぶ大学院生の1週間のタイムスケジュール例



### 4年間の長期履修学生制度利用

渡邊 允雄さん [リハビリテーション科学分野]

理学療法士として病院勤務をしておりましたが、臨床研究方法について深く学びたいと思い進学しました。勤務しながらの進学を希望していたため、長期履修学生制度を利用し履修期間を延長し、平日週1回に夜間の講義と、土曜日に講義を受けました。その為、勤務との両立に負担なく大学院で学ぶことができています。

# 2020年度 大学院入試

## 推薦入試

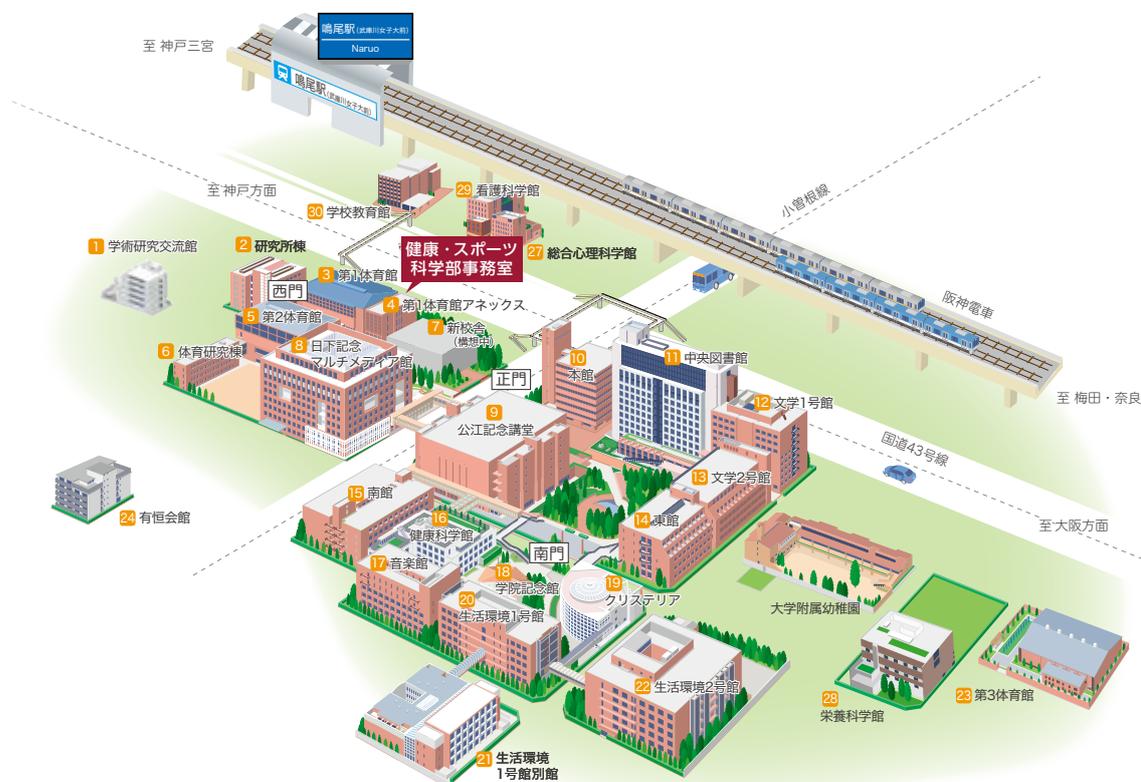
出願期間	試験日	試験科目
【6月募集】 2019年5月30日(木)～2019年6月6日(木)(消印有効)	2019年 6月15日(土)	「小論文」「面接」
【10月募集】 2019年9月10日(火)～2019年9月20日(金)(消印有効)	2019年 10月5日(土)	
【11月募集】 2019年11月11日(月)～2019年11月21日(木)(消印有効)	2019年 11月30日(土)	
【2月募集】 2020年1月16日(木)～2020年1月30日(木)(消印有効)	2020年 2月15日(土)	

## 一般入試および社会人特別選抜

出願期間	試験日	試験科目
【前期募集】 2019年9月10日(火)～2019年9月20日(金)(消印有効)	2019年 10月5日(土)	一般入試 「専門科目と英語の筆記試験」「面接」 ※ただし後期募集においては英語を実施しない
【後期募集】 2020年1月16日(木)～2020年1月30日(木)(消印有効)	2020年 2月15日(土)	社会人特別選抜 「小論文」「面接」

※入試センターにて過去1年分の入試問題を配布しています。試験の準備にご利用下さい。  
入試センター (TEL.0798-45-3500)

## 案内地図 Access Map



## 武庫川女子大学 健康・スポーツ科学部事務室

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46 電話：0798-45-9793 (直通)  
メールアドレス：spo@mukogawa-u.ac.jp